



日時：平成28年8月1日(月) 13:00~17:30

会場：日本学術会議講堂（東京都港区六本木7丁目22番地34号）

主催：日本学術会議 土木工学・建築学委員会大地震に対する大都市の防災・減災分科会

参加費：無 料（申し込みは不要）

資料：終了後、発表に用いたパワーポイントは「防災学術連携体」Webサイト内

お知らせ欄に公開予定 <http://janet-dr.com/>

## 開催趣旨

地震発生頻度の高いわが国において、構造物や機能は大都市に過度に集中し、地震災害リスクはますます高まっている。熊本地震においても建物やインフラの耐震性の問題に加えて、多くの課題が顕在化した。本分科会では、大都市の震災リスクを低減するための建物・インフラ・情報インフラなどの高耐震化とそ

のための社会システムなどについて検討している。本シンポジウムでは、来るべき大地震に備え、大都市の震災軽減につながる、強靱な都市・社会の構築に向けた提言案とその背景となる考え方を発表し、内容について議論する。



# 大震災の起きない都市を目指して

## プログラム

総司会： 田村和夫（日本学術会議連携会員・千葉工業大学教授）

- |                                   |                              |             |
|-----------------------------------|------------------------------|-------------|
| 1. 挨拶・趣旨説明                        | 和田 章（日本学術会議連携会員、東京工業大学名誉教授）  | 13:00~13:05 |
| 2. 熊本地震と日本学術会議・防災学術連携体の緊急対応       | 米田雅子（日本学術会議会員、慶應義塾大学特任教授）    | 13:05~13:25 |
| 3. 提言案の構成と全体概要                    | 和田 章（前掲）                     | 13:25~13:40 |
| 4. 提言案の背景の説明                      |                              |             |
| (1) 大都市域における建築物の高耐震化に向けて          | 田村和夫（前掲）                     | 13:40~13:55 |
| (2) 安全性の高い国土・都市に向けての長期的戦略の必要性     | 南 一誠（日本学術会議連携会員・芝浦工業大学教授）    | 13:55~14:10 |
| (3) 社会インフラの機能回復力確保に向けて            | 高橋良和（日本学術会議連携会員・京都大学准教授）     | 14:10~14:25 |
| (4) 堆積平野に立地して発展した大都市に共通の地震に対する脆弱性 | 浅岡 顕（日本学術会議連携会員・地震予知総合研究振興会） | 14:25~14:40 |
| (5) 宅地の地震被災と耐震性向上の仕組み             | 沖村 孝（日本学術会議連携会員・神戸大学名誉教授）    | 14:40~14:55 |
| (6) 都市活動を支える情報インフラの防災・減災対策への有効活用  | 山本佳世子（日本学術会議連携会員・電気通信大学准教授）  | 14:55~15:10 |
| (7) 都市・建物の安全性確保のための社会システム         | 福井秀夫（日本学術会議連携会員・政策研究大学院大学教授） | 15:10~15:25 |
|                                   | 休憩                           | 15:25~15:40 |
| 5. 総合討論                           | 講演者全員+会場                     | 15:40~17:10 |
| 6. まとめ・閉会挨拶                       | 小野徹郎（日本学術会議連携会員・名古屋工業大学名誉教授） | 17:10~17:30 |